

あいちレポート 2022

県政 150 周年特集号

(概要版)

<作成趣旨>

「あいちビジョン 2030」(2020 年 11 月策定)の推進のため、毎年度、年次レポートによる進行管理を実施しています。ビジョンの推進 2 年目となる 2022 年度はビジョンで示した 4 つの「めざすべき愛知の姿」の実現に向けたこれまでの取組状況や、地域毎の現状、取組について紹介する「あいちレポート 2022」を作成しました。

また、レポートでは、2022 年は県政 150 周年を迎えた記念すべき年であることから、愛知のあゆみを統計データ等で振り返る内容や、本県と世界の都市等を比較分析する特集記事を掲載しています。

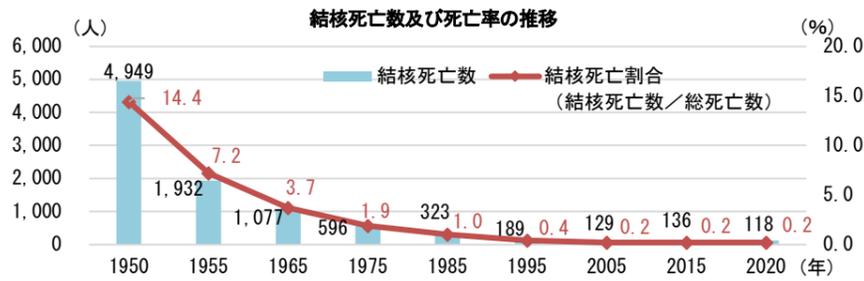
<構成>

第 1 部 (特集)	第 1 章 誕生 150 周年 愛知の今と昔 2022 年に県政 150 周年を迎えたことを記念し、ビジョンの重要政策の方向性に沿った 10 のテーマについて、統計資料等をもとに愛知のあゆみを振り返る内容となっています。
	第 2 章 愛知と国際都市との比較 国際競争力の強化を意識し、重要政策の方向性に沿ったテーマで本県と世界の都市等を比較分析しています。
第 2 部	第 1 章 めざすべき愛知の姿の実現に向けた取組 ビジョン策定後の社会経済の変化を踏まえつつ、本県を巡る状況を分析するとともに、ビジョンで示した 4 つの「めざすべき愛知の姿」の実現に向けたこれまでの取組状況について、10 の重要政策の方向性で柱立てし、統計資料や県の取組の写真等を用いて説明しています。
	第 2 章 県内各地域の現状と本県の主な取組 県内を 6 地区(※)に区分し、各地域のデータや県の取組を紹介しています。 ※ 6 地区：①名古屋、②尾張北東部、③尾張中西部・海部、④知多、⑤西三河、⑥東三河

※グラフの数値はすべて愛知県の数値となっています。

感染症の克服

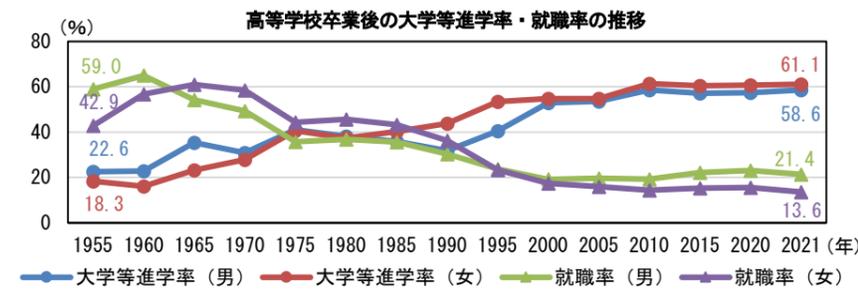
◆結核の死亡率の減少 1950年：14.4% ⇒ 2020年：0.2%



出典：愛知県「愛知県衛生年報」より愛知県政策企画局作成

大学進学率の上昇

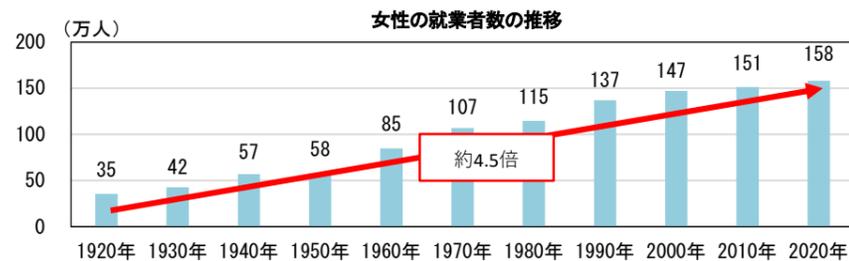
◆1955年：男22.6%・女18.3% ⇒ 2021年：男58.6%・女61.1%



※大学等：大学学部、短期大学本科、通信教育部・放送大学、別科・専科を含む
出典：文部科学省「学校基本調査」

女性の就業者数の増加（有職率の上昇）

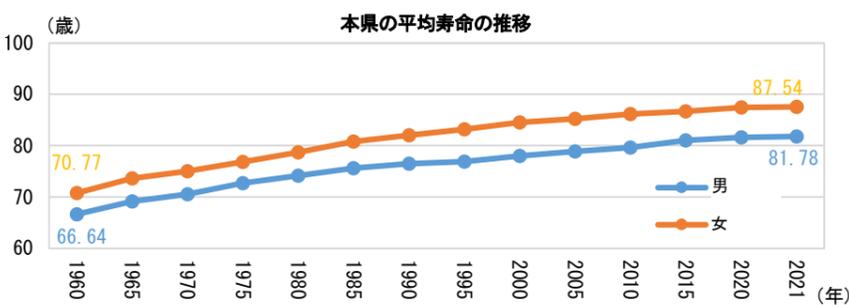
◆1920年：35万人（33.5%） ⇒ 2020年：158万人（49.2%）



※各就業者数は1920年国勢調査の「本業者」、1930年～1940年国勢調査の「有業者」、1950年～2020年の「就業者」を集計。
出典：総務省統計局「国勢調査」より愛知県政策企画局作成

平均寿命の延伸

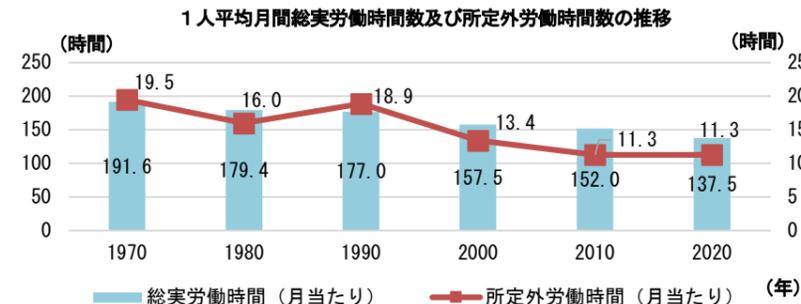
◆1960年：男66.6歳・女70.8歳 ⇒ 2020年：男81.8歳・女87.5歳



出典：愛知県「2020年愛知県生命表」

月労働時間（所定外労働時間）の減少

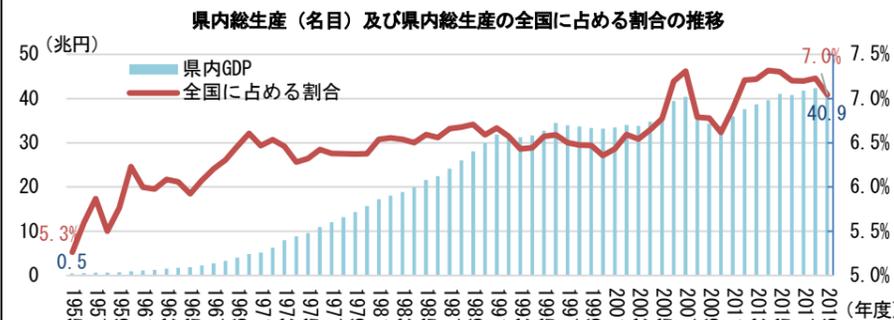
◆1970年：191.6時間（19.5時間） ⇒ 2020年：137.5時間（11.3時間）



※事業所規模30人以上 出典：厚生労働省「労働統計年報」

経済・産業の成長

◆県内総生産の増加（1955年度：0.5兆円 ⇒ 2019年度：40.9兆円）
◆製造品出荷額等は1977年に神奈川県・大阪府を抜き全国1位に
◆農業産出額の増加（1960年：591億円 ⇒ 2021年：2,922億円）



※1955～1974年度は1980年基準、1975～1989年度は1990年基準、1990～1995年度は1995年基準、1996～2000年度は2000年基準、2001～2005年度は2005年基準、2006～2010年度は2011年基準、2011年以降は2015年基準 出典：内閣府「県民経済計算」



出典：農林水産省「生産農業所得統計」

在留外国人数の増加

◆1964年：4.6万人 ⇒ 2022年：28.1万人

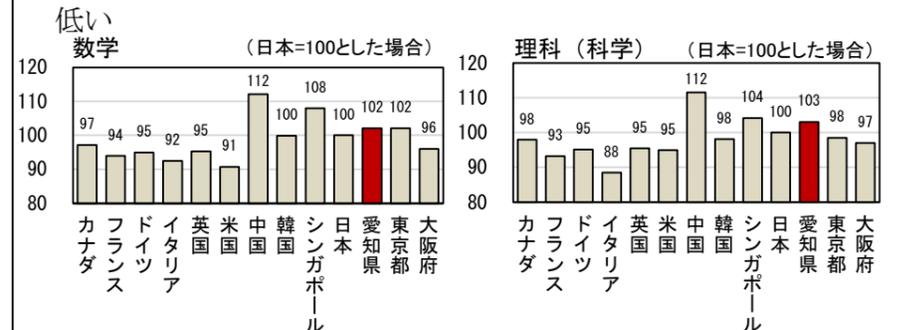


※1964年は4月1日時点、1974～2014年は12月末時点
出典：1964～2004年は法務省「登録外国人統計」、2014年以降は法務省「在留外国人統計」より愛知県政策企画局作成

比較した主な指標（主なもの）

指標 中学生の学力

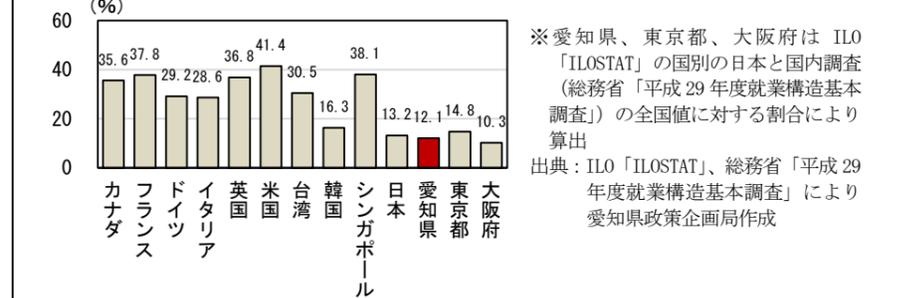
⇒数学・理科（科学）で欧米より高いが、中国、シンガポールより低い



※愛知県、東京都、大阪府はOECDの国別の日本と国内調査（文部科学省「平成30年度全国学力・学習状況調査 中学校」）の全国値に対する割合により算出、国語（読解力）は国語B、数学は数学B、理科（科学）は理科とした。
出典：OECD「生徒の学習到達度調査」(2018)、文部科学省「平成30年度全国学力・学習状況調査 中学校」により愛知県政策企画局作成

指標 管理職の女性雇用の割合

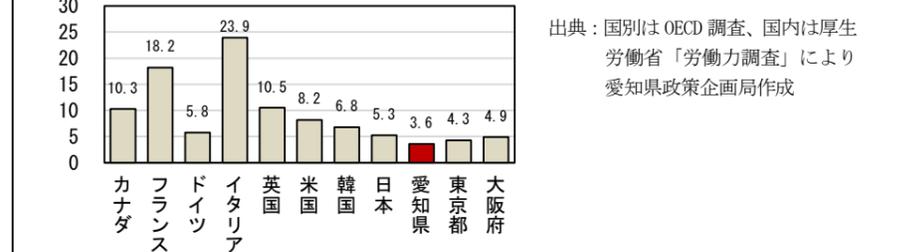
⇒欧米、シンガポール、台湾等より低い



※愛知県、東京都、大阪府はILO「ILOSTAT」の国別の日本と国内調査（総務省「平成29年度就業構造基本調査」）の全国値に対する割合により算出
出典：ILO「ILOSTAT」、総務省「平成29年度就業構造基本調査」により愛知県政策企画局作成

指標 若者（15～24歳）の完全失業率

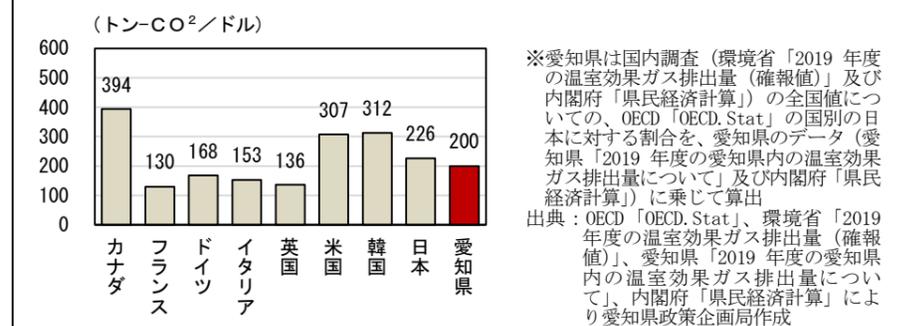
⇒欧米、韓国より低い



出典：国別はOECD調査、国内は厚生労働省「労働力調査」により愛知県政策企画局作成

指標 GDP（GRP）当たりの温室効果ガス排出量

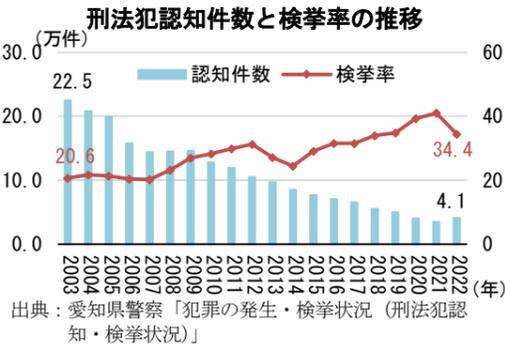
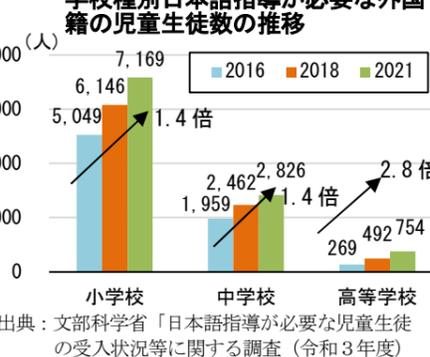
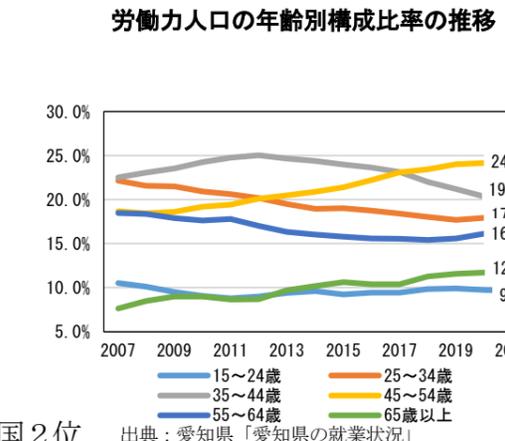
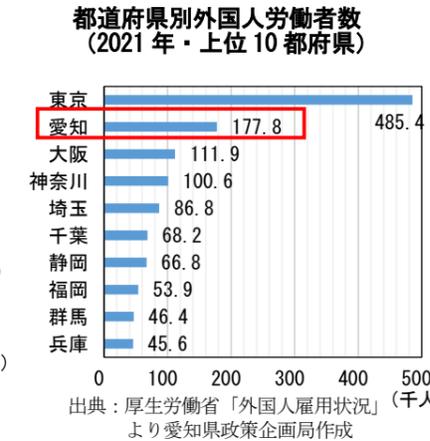
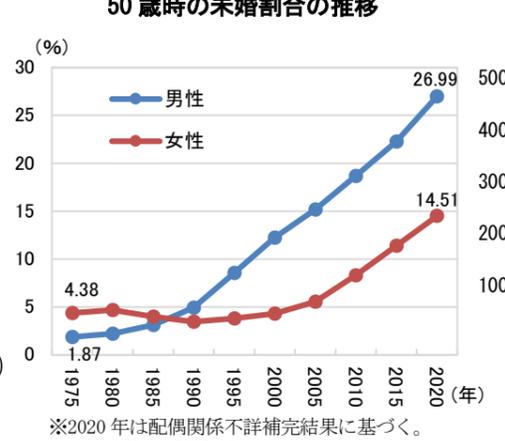
⇒欧州より多く、米国、韓国より少ない



※愛知県は国内調査（環境省「2019年度の温室効果ガス排出量（確報値）」及び内閣府「県民経済計算」）の全国値についての、OECD「OECD.Stat」の国別の日本に対する割合を、愛知県のデータ（愛知県「2019年度の愛知県内の温室効果ガス排出量について」及び内閣府「県民経済計算」）に乗じて算出
出典：OECD「OECD.Stat」、環境省「2019年度の温室効果ガス排出量（確報値）」、愛知県「2019年度の愛知県内の温室効果ガス排出量について」、内閣府「県民経済計算」により愛知県政策企画局作成

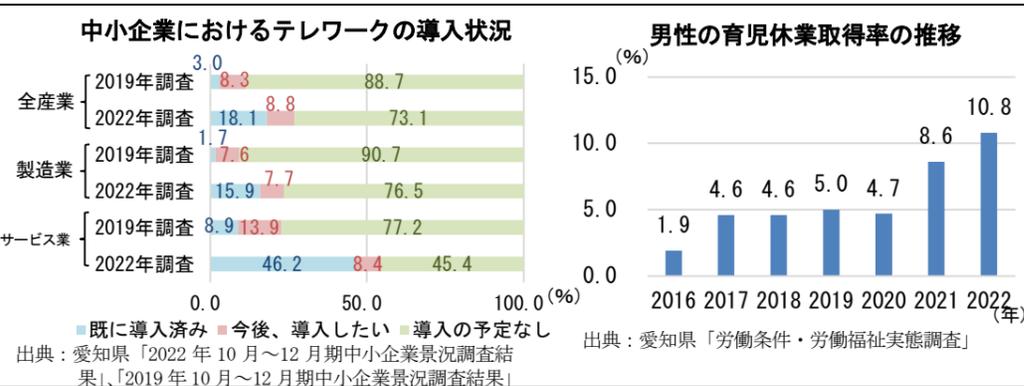
第2部1章 めざすべき愛知の姿の実現に向けた取組

※グラフの数値はすべて愛知県の数値となっています（グラフタイトルに特に記載があるものは除く）。

重要政策の方向性	本県を巡る状況（掲載している主な統計等資料等）	紹介している県の取組（主なもの）
<p>① 危機に強い安全・安心な地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の緊急事態宣言の時系推移 ○ 南海トラフ地域の被害予測と減災効果 ○ 交通事故死者数の推移 ⇒減少傾向、高齢者約5割 ○ 犯罪認知件数の推移 ⇒減少傾向、サイバー犯罪増加 ○ 消費者相談件数の推移 ⇒減少傾向（SNS関連で増加）  	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニューあいちスタンダードの取組、ワクチン接種促進・PCR検査支援、病床確保・医療支援 ○ 住宅の耐震化促進、吊り天井対策・インフラ耐震化の推進 ○ 津波避難訓練、ペット同伴避難対策の推進 ○ 基幹的広域防災拠点の整備 ○ 松平健氏による交通安全PR ○ AIを活用した犯罪捜査の実施 <p>SKE48とコラボした若者向けのワクチン接種啓発動画</p> 
<p>② 次代を創る人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口動向（総人口、自然・社会増減） ⇒自然減が急速に進む、東京圏への流出続く ○ 学力・学習調査の平均正答率 ⇒小学校で全国に比較して低い傾向 ○ 特別支援教育を受ける児童生徒数 ⇒増加傾向、公立特別支援学校の教室不足は減少傾向 ○ 日本語指導が必要な外国人児童生徒数 ⇒増加傾向、高等学校で2.8倍増  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若年女性への県内企業の魅力PR ○ スーパーサイエンスハイスクールや理系教育の推進 ○ 特別支援学校の整備、インクルーシブ教育システムの推進 ○ 外国人児童生徒への切れ目ない支援 ○ GIGAスクール構想の推進 ○ ICT教育推進のモデル校の指定、工科高校の拡充、中高一貫校の導入 <p>にしお特別支援学校</p> 
<p>③ すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 労働力人口の推移 ⇒増加傾向（45～54歳、65歳以上の割合が増加） ○ 女性の年齢別労働力率 ⇒M字カーブの底が浅くなる ○ 高齢者人口の推移・将来推計 ⇒団塊ジュニアが65歳以上となる2040年に急増（2040年問題） ○ 障害者手帳所持者⇒増加傾向 ○ 在留外国人数の推移（国籍別） ⇒増加傾向（ベトナムが2位） ○ 外国人労働者数は東京都に次いで全国2位  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の再就職支援、管理職養成や起業セミナー等の開催 ○ 中高年齢者再就職支援 ○ リカレントフォーラムの開催、愛知県立大学におけるリカレント教育 ○ 就職氷河期世代向けのデジタル技術に関する職業訓練 ○ 企業の障害者雇用支援、農福連携の取組支援 ○ 日本語教室と連携した学習支援 ○ 愛知県人権尊重の社会づくり条例の推進 <p>農福連携</p> 
<p>④ 安心と支え合いの社会づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未婚割合・平均初婚年齢 ⇒男性は4人に1人が未婚 ○ 児童虐待相談対応件数 ⇒増加傾向（9年間で3.2倍） ○ ヤングケアラーの実態調査結果 ⇒全国に比べて高い傾向 ○ 要介護認定者数の推移・将来推計 ⇒増加傾向（特に75歳以上で増） ○ 認知症高齢者数の将来推計 ⇒2040年にかけて急増（最大54.6万人） ○ 生活保護の被保護世帯の推移 ⇒わずかに増加  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県全体での出会いの機会の創出 ○ 児童相談センターの体制強化 ○ ヤングケアラーへの理解促進、市町村モデル事業の実施 ○ 地域包括ケアに向けた市町村への支援、介護人材の育成・確保 ○ 「あいちオレンジタウン構想」の推進、国立長寿医療研究センターとの連携などの認知症対策の推進 ○ 重症外傷センター指定制度の創設、新たなドクターヘリの導入 ○ 生活困窮者のアウトリーチ支援 <p>愛知県認知症希望大使</p> 

⑤ 豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

- 中小企業のテレワーク導入状況
⇒導入済・今後導入で増加
- 労働時間
⇒減少傾向、全国より高い
- 男女別家事・育児時間数
⇒男性で増加、女性で減少しているものの男性が著しく短い
- 男性の育児休暇取得率の推移
⇒上昇傾向にあるが10%程度

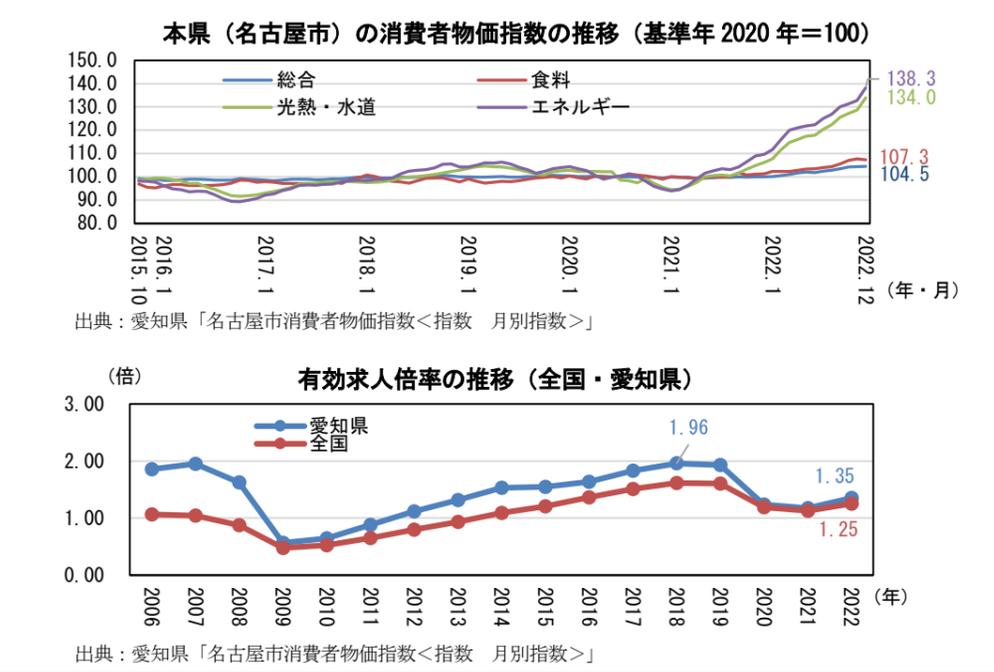


- あいちテレワーク・モデルオフィスの設置、マニュアル作成・普及によるテレワークの促進
- ワーク・ライフ・バランス推進運動協賛事業所の募集
- あいちイクメン・イクボス応援会議の開催
- あいち健康経営アワードの表彰



⑥ イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

- 消費者物価指数の推移
⇒2022年で急激に上昇
- 貿易収支の推移
⇒県は横ばい、全国は赤字幅最大
- 製造品出荷額等の推移
⇒44年連続で全国第1位
- ユニコーン企業数の国際比較
⇒欧米や中国に比べ低い
- 有効求人倍率
⇒コロナで一旦低下後、再び上昇傾向
- 農業産出額
⇒前年よりわずかに増加（全国8位）
- 農業用資材・重油価格
⇒2021年から急騰

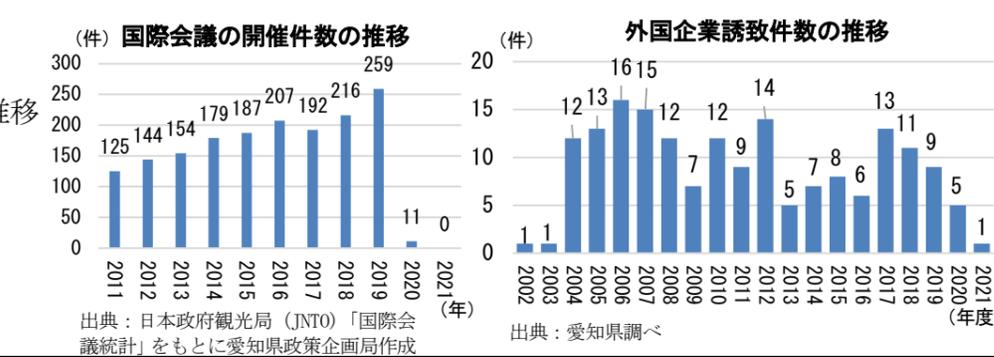


- 小中高生の起業家精神の育成、ベンチャーキャピタル（VC）とスタートアップをつなぐプログラム等の実施、「STATION Ai」の整備
- あいちデジタルヘルスプロジェクトの推進
- 革新事業創造提案プラットフォーム（A-idea）の構築
- 自動運転の社会実装の推進
- 高校生ロボットシステムインテグレーション競技大会の開催
- 中小企業のデジタル化・DX支援
- 原油・物価高騰対策等の実施
- 技能五輪・アビリンピック開催
- スマート農林水産業の推進、半農半X、農林水産物輸出促進
- 畜産総合センター種鶏場の整備



⑦ 世界とつながるグローバルネットワークづくり

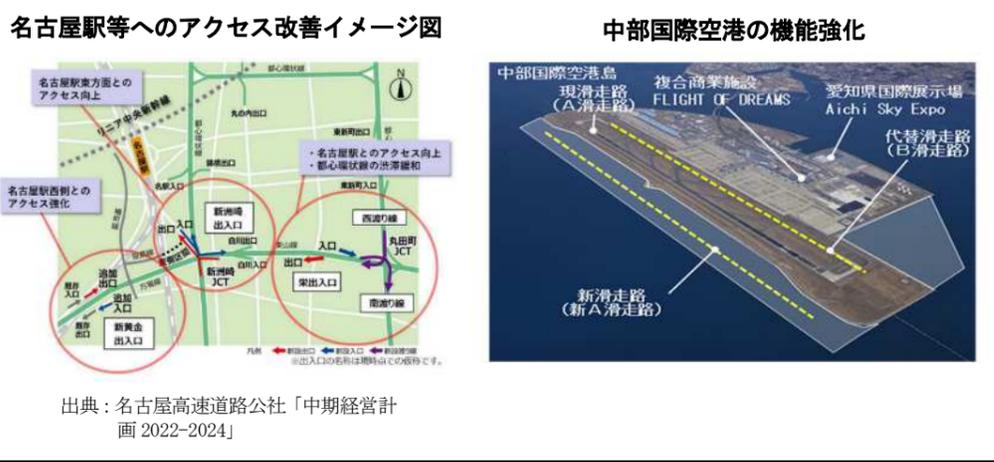
- 国際会議の開催件数の推移
⇒コロナ前までは増加傾向
- 国際展示場の来場者数・稼働率の推移
⇒コロナ前までは増加傾向
- 県内企業の海外進出拠点数の推移
⇒新規進出拠点数は減少傾向
- 外国企業の誘致件数の推移
⇒コロナの影響もあり減少傾向



- グローバル・インダストリーの日本版「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE（スマート・マニユファクチャリング・サミット・バイ・グローバル・インダストリー）」の開催支援
- 海外に設置した「海外産業情報センター」及び「サポートデスク」における県内中小企業等の海外事業活動の総合的な支援
- 国家戦略特区を活用した外国人の創業支援
- 海外の大学やスタートアップ支援機関等との連携・協力関係を通じた本県への高度人材の誘致や県内大学等における人材育成などの促進

⑧ スーパー・メガ・リージョンのセンターを担う大都市圏づくり

- リニア中央新幹線の整備状況、名古屋駅のスーパーターミナル化、40分交通圏の拡大
- 広域道路ネットワーク整備状況
- 空港の機能強化
- 県内3港の取扱貨物量の推移
⇒コロナによる減少から回復傾向
- インフラの維持・更新費用試算
⇒計画的な維持管理・更新の必要性



- 知立駅付近連続立体交差事業の推進
- 中部国際空港の第二滑走路の整備
- 港湾のふ頭・岸壁整備、名古屋港のカーボンニュートラルポート形成
- JR刈谷駅総合改善事業への支援
- スマートシティモデル事業の推進、県内市町村への展開
- あいちデジタルアイランドプロジェクトの推進
- PFIによる県営住宅等の整備



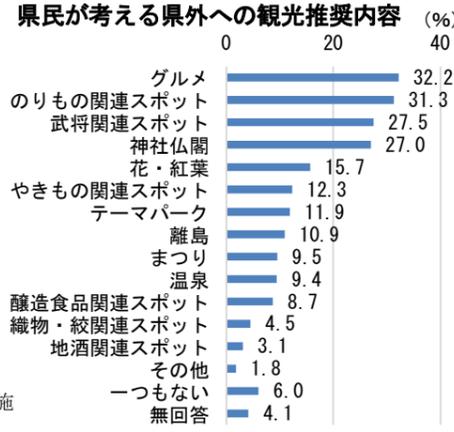
※グラフの数値はすべて愛知県の数値となっています。

⑨ 選ばれる魅力的な地域づくり

- 来県外国人旅行者数の推移
⇒コロナ前までは増加傾向
- 次に海外旅行したい国・地域
⇒アジア・欧米豪で日本が1位
- 2022年11月1日ジブリパーク開園(第1期)
- 国際芸術祭「あいち2022」の開催
⇒来場者数はコロナ禍でも48万人超
- 県民が考える観光推奨内容
⇒グルメ・のりもの・武将関連が上位



※2011年は、4-12月のみで訪問率を算出
2020年は、1-3月のみで訪問率を算出
2021年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから欠測
出典：日本政府観光局「訪日外客統計」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より算出



出典：愛知県「2019年度第2回県政世論調査」

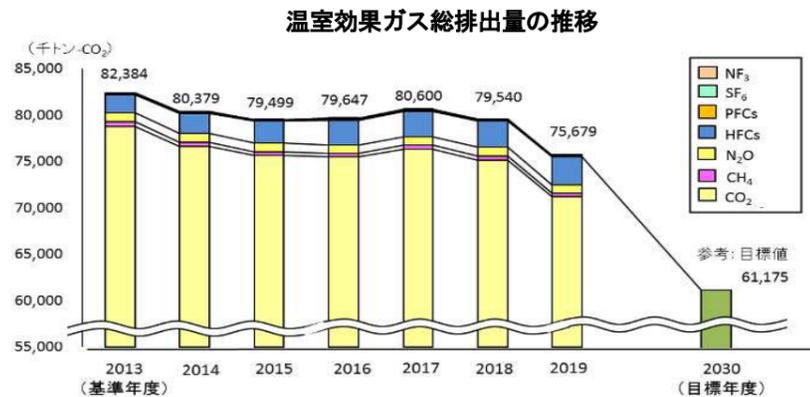
- 日台観光サミットの開催
- ツーリズム EXPO ジャパンの誘致
- ジブリパーク第2期整備、ジブリパークを活用した周遊観光
- 愛知万博20周年記念事業の推進
- アジア・アジアパラ競技大会の開催
- 文化施設の魅力向上、海外での国際芸術祭の積極的な周知
- 愛知県新体育館(愛知国際アリーナ)の整備
- どうする家康を契機とした観光誘客
- 県政150周年記念事業・県民の日



© Studio Ghibli

⑩ 持続可能な地域づくり

- 温室効果ガス総排出量の推移
⇒減少傾向、全国最多であるが、県内総生産当たりの排出量は低い、産業部門が多いことが特徴
- 生物多様性に関する国際的な動き
⇒世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の採択
- 産業廃棄物排出量等の推移
⇒増加傾向、循環利用率は7割程度
- SDGs登録企業数の推移⇒大きく増加



出典：愛知県「2019年度の愛知県内の温室効果ガス排出量について」(2022年3月)

- カーボンニュートラルの取組推進(矢作川CNプロジェクト、グリーンボンド等)
- 生物多様性に関する「あいち方式」の発展・確立、三河湾の環境再生
- サーキュラーエコノミーに資する製造設備等の導入・事業化への支援
- エシカル消費の普及啓発
- SDGs推進フェアの開催



第2部2章 県内各地域の現状と本県の主な取組

＜各地域の現状として記載している項目＞

人口動向	総人口の推移、年齢三区分別人口割合、自然増減、合計特殊出生率、転入・転出状況、昼夜間人口比率、従業地・通勤地が「他市町村」の割合
土地利用	土地利用の現況(2010年と2020年との比較)
産業	産業別就業者割合、農業産出額、製造品出荷額等(産業中分類別構成比)、小売販売額
観光	観光資源の利用者数
住宅	住宅総数、空き家率
医療・福祉	10万人当たり医師数、高齢者向け施設定員数、保育所充足率

※このほかの地域別に特徴的なデータを記載
オフィス供給量(名古屋地区)、浸水想定域・液状化危険度分布(尾張中西部・海部地区)、輸送用機械器具製造業の出荷額等の全国上位10市町村(西三河地区)、農産物産出額の全国上位10市町村(東三河地区) など

＜主な取組＞

地区	主な取組
名古屋	PRE-STATION Aiの開設、愛知県新体育館(愛知国際アリーナ)の整備、名古屋港金城ふ頭地区ふ頭再編改良事業 など
尾張北東部	あいち農業イノベーションプロジェクト(県農業総合試験場)、ジブリパークを生かした周辺地域の活性化・周遊観光 など
尾張中西部・海部	あいち朝日遺跡ミュージアム、広域防災活動拠点の整備、名古屋第二環状自動車道名古屋西JCT～飛島JCT開通 など
知多	Aichi Sky Expoを活用した国内外の大型催事・展示会の誘致、「重心施設にじいろのいえ」開所、西知多道路の整備 など
西三河	豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業、にしお特別支援学校の開校、JR刈谷駅の改良工事やスマートシティの取組 など
東三河	STATION Aiパートナー拠点によるスタートアップ支援、「東三河スポーツツーリズム」の推進、三遠南信自動車の整備 など

6地区：①名古屋、②尾張北東部、③尾張中西部・海部、④知多、⑤西三河、⑥東三河

